

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 179番
- *交読文 34番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 174番
- 礼拝のための祈り 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 302番
- メッセージ ユダヤ人的御言葉作法(ネヘミヤ 8:5-6)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 399番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行行教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

聖書は、すべて神の靈感を受けて書かれたものであつて、____を教え、戒め、正しくし、義に導くのには有益である。それによって、神の人____が、あらゆる良いわざに対して十分な準備ができて、完全にととのえられた者になるのである。

(2テモテ 3:16-17)

あなたのみ言葉は____の足のともしび、____道の光です。(詩篇 119:105)

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は初めに神と共にあった。すべてのものは、これによってできた。できたもののうち、一つとしてこれによらないものはなかった。この言に命があった。そしてこの命は____の光であった。光はやみの中に輝いている。そして、やみはこれに勝たなかった。

(ヨハネ 1:1-5)

ユダヤ民族は実に不思議な民族である。BC 586年、バビロンによってイスラエルという「国」は破壊された時以来、全イスラエル民族は全世界へと離散してしまった。彼らは色々な国に散らばってしまったが、およそ2500年後の1948年、数千年前の過去に先祖達が住んでいたその土地に、数千年前の国名で、数千年前の言語で、奇跡の復活が与えられた。通常、国が破壊されて100年も過ぎれば、その国は歴史から消えてしまうのが常だが、なんとイスラエルは、数千年の時を経て復活したのである。イスラエルという国の存在自体、イスラエルの神、主が生きておられる、という事の証明であるとか、言いようがない。今学んでいるコーエン大学から譲って頂いた資料を翻訳しつつ、ユダヤ人はなぜ奇跡的に復活したのか、また世界中に離散している時、どのように過ごし、子々孫々に御言葉と神の民としての生き方と誇りを受け継いで来たのか、その優れたユダヤ的教育方法を現在学んでいるが、それを順次お分ちして行きたい。

本日学ぶのは、ユダヤ人的な御言葉に対する「お作法」である。『エズラはすべての民の前にその書を開いた。彼はすべての民よりも高い所にいたからである。彼が書を聞くと、すべての民は起立した。エズラは大いなる神、主をほめ、民は皆その手をあげて、「アメン、アメン」と言って答え、こうべをたれ、地にひれ伏して主を拝した。』(ネヘミヤ 8:5-6)ここは、「聖書的アメン」の節である。エズラは大祭司の子孫で律法に精通した学者であり、彼はバビロン捕囚から帰って来たイスラエルの民の前に、御言葉を朗読し、その意味を解き明かした。(8節)

ユダヤ式の御言葉への作法の第一は、まず、起立から始まる。彼が聖書を開いた時、会衆は起立した。起立するという行動は、相手(開かれた御言葉)に対し尊敬を表す行為である。起立するためには、足に力を入れて立つという、少しの体力を使う行動だが、御言葉に対し、「聞く」においても、「朗読する」においても、「反応する」においても、身体を使うのが「ユダヤ式」である。御言葉を読む時、座ってラクして、目で追って口に出さず、「黙読」するでは、中々自分の中に入らない。御言葉はイエス・キリストそのお方である。私達も御言葉に相對する時、それなりの敬意を表すならば、敬意を表したイエス様から、相応の反応、相応の恵みを頂く事が出来る。エズラが主をほめたたえた時、民は皆その手をあげて、「アメン」を2回、繰り返した。身体を使う2番目の礼拝行為は、御言葉や賛美に対して「アメン」と応答する時、「手を挙げる」事である。アメンには7つの意味がある。「1、そのようになりますように!」「2、信じます」「3、確信します」「4、同意します」「5、それは真実です、真理です」「6、それは、わたしの始まりであり、」「7、わたしの終わりです」。キリスト教会では「伝統的に」口頭でアメンしているが、エズラ以来、ユダヤ的には起立し、両手を上げて「アメン、アメン」と応答する。このように御言葉に対しアメンすると、心が開かれ、口が、耳が、そして天が開き、そこに同席している人にも、聖霊の働きが移って行く。3番目の身体を使った行動は、ひれ伏す行為である。具体的には、正座したままひれ伏し、手の指先から腰まで真っ直ぐの姿勢で、膝の間に顔をうずめる。完全なる主に対する服従の姿勢である。このように彼らは「主を誉めたたえ」「手を揚げてアメン、アメン」し、最後に、「地に顔をうずめて誉めたたえた」。

ユダヤ人はこのように、主ご自身であられる御言葉に対して身体全体を用いて、敬意を表す。そうすると、御言葉なる主が、脳に、身体に、そして魂に、霊に、刻み込まれ、脳も身体も活性化される。実際、御言葉の1節を、1週間かけてもどうしても覚えられなかった夫婦が、この方法を用いた所、ものの三十分で覚え、しかも脳も生き生きして「楽しい」と言って、自主的・意欲的に御言葉を覚えるようになった。この、反復して繰り返し教える方法をハカダ(Haggadah)と言い、ヘブル教育の根本は「出来るようになるまで繰り返す」事、ハカダする事だ。今、何人かの聖徒達に、箴言の御言葉をハカダして暗唱するための音声を配っているが、箴言のおよそ千節を英語で覚えるなら、ハーバード大に入れるだけの実力になる。二千節を覚えたある子は、親が車事故に遭った時、相手のナンバーや色、発言内容の全てを録画したかのように記憶していた。五千節覚えるなら、手で触ったもの、足で踏んだ所は自分のものになると言う。御言葉をハカダし、日本を、世界を造り変える皆さんでありますように! イエス様の名前によって祝福します!

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00
聖書の学び会(詩篇) 15:00

金曜徹夜祈禱会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈禱会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈禱会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト